C　社会と歯学

適正な歯科医療を提供するために、歯科医師に求められる倫理的、法的、社会的知識と態度を身に付ける。

C-1　医の倫理、生命倫理と患者中心の歯科医療

患者中心の歯科医療を提供するために、プロフェッショナリズムを身に付ける。

C-1-1　医の倫理と患者中心の視点

患者の主体的治療参加を促すために、患者の安全を最優先して常に患者中心の立場に立つとともに、遵守すべき生命科学・医学系研究における倫理に関する知識と態度を身に付ける。

学修目標：

C-1-1-1　医の倫理と生命倫理、患者の権利に関する規範、国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解している。

C-1-1-2　臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を理解している。

C-1-1-3　患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を理解している。

C-1-1-4　インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。

C-1-1-5　医学研究に関する倫理的問題を理解している。

C-1-1-6　研究を医学、医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。

C-1-2　歯科医師としての責務と裁量権

豊かな人間性と生命の尊厳についての深い自覚を有し、人の命と健康を守る歯科医師としての義務と責任を自覚する。

学修目標：

C-1-2-1　歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。

C-1-2-2　コンプライアンスを遵守する。

C-1-2-3　患者との信頼関係構築の重要性を理解している。

C-1-2-4　医療サービスの特殊性(情報の非対称性、医療の不確実性)や治療の限界を理解している。

C-1-2-5　歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解している。

C-1-3　チーム医療

患者中心のチーム医療の重要性を理解し、他の医療従事者との連携を身に付ける。

学修目標：

C-1-3-1　患者中心のチーム医療の意義を理解している。

C-1-3-2　医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。

C-1-3-3　医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。

C-1-3-4　医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。

C-1-3-5　患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。

C-1-3-6　人生の最終段階における歯科の関わり(看取り、グリーフケアを含む)と本人の意思決定、意思表示を理解している。

C-2　探求と解決能力

発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身に付け、疫学と根拠に基づいた医療(EBM)を基盤に、広い症候、病態、疾患に対応する。

学修目標：

C-2-1　講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。

C-2-2　科学的情報を入手し選別するために必要な英語力を身につけることができる。

C-2-3　必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。

C-2-4　課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。

C-2-5　自己学修や協同学修の場に適切な Information and Communication Technology(ICT)(e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。

C-2-6　適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。

C-2-7　各自の興味に応じて科学的研究に積極的に参加できる。

C-3　医療の質と患者安全の確保

患者の安全を最優先に確保した上で、良質な歯科医療を提供するために必要な知識を身に付ける。

C-3-1　安全な医療の確保

信頼される安全で安心な歯科医療を提供するために、医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)は日常的に起こる可能性があることを自覚した上で、患者の安全確保を最優先するために必要な知識を身に付ける。

学修目標：

C-3-1-1　医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)と防止策を理解している。

C-3-1-2　医療現場における報告、連絡、相談及び診療録記載の重要性を理解している。

C-3-1-3　医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を理解している。

C-3-1-4　医療機関に求められる患者安全管理体制を理解している。

C-3-2　医療上の事故等への対処と予防

医療事故が発生した場合の対処方法と予防策を身に付け、防止対策を立案できる。

学修目標：

C-3-2-1　医療事故(診療関連死を含む)と医療過誤の違いを理解している。

C-3-2-2　医療法に基づく医療事故調査制度を理解している。

C-3-2-3　薬物による有害作用報告(医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等)の意義を理解している。

C-3-2-4　医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録事項、報告体制を理解している。

C-3-2-5　医療上の事故等の事例(薬害や注射器等の連続使用による B 型肝炎、ウイルス感染被害等を含む)の原因を分析し、防止対策を立案できる。

C-3-2-6　健康被害救済制度(医薬品副作用被害救済制度等)を理解している。

C-3-3　医療従事者等の健康と安全の確保

医療従事者が遭遇する医療上の事故等について、基本的な予防、対処及び改善の方法を身に付ける。

学修目標：

C-3-3-1　医療従事者の健康管理(予防接種、被曝線量管理を含む)の重要性を理解している。

C-3-3-2　針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を理解している。

C-3-3-3　廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った廃棄物処理を理解している。

C-3-3-4　医療現場における労働環境の改善の必要性を理解している。

C-4　健康と社会、環境

将来にわたり質の高い医療を継続して提供するために、その実践に必要な幅広い知識を身につけ、変化に対応する能力を涵養する。

C-4-1　健康の概念と死の定義

歯科医学及び歯科医療によって健康に寄与するために、健康と疾病の概念と死の定義を理解する。

学修目標：

C-4-1-1　健康、障害、疾病と死の概念を理解している。

C-4-1-2　口腔と全身の健康との関連を理解している。

C-4-2　歯科医師法及び医療関連法規

法令を遵守して歯科医療を実践するために、歯科医師法及び医療関連法規の規定を理解する。

学修目標：

C-4-2-1　歯科医師法、医療法をはじめとする歯科医業に関する法規を理解している。

C-4-2-2　歯科医師の業務及び義務を理解している。

C-4-2-3　歯科衛生士法、歯科技工士法及び歯科口腔保健の推進に関する法律を理解している。

C-4-2-4　薬事衛生法規(日本薬局方、医薬品・医療機器等の取り扱いを含む)の概要を理解している。

C-4-2-5　保健衛生法規の概要を理解している。

C-4-2-6　予防衛生法規の概要を理解している。

C-4-2-7　医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法及びその他の歯科医療関係職種の関係法の概要を理解している。

C-4-3　医療・保健・福祉・介護の制度

限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、適切に医療・保健・福祉・介護を提供するために、関連する社会制度、地域医療及び社会環境を理解する。

学修目標：

C-4-3-1　地域、職場及び各ライフステージの保健医療施策の背景と概要を理解している。

C-4-3-2　社会保障制度(社会保険の各制度、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)を理解している。

C-4-3-3　社会保障費と医療経済(国民医療費、医療費負担と給付)を理解している。

C-4-3-4　小児や高齢者、障害者等の置かれた社会環境とその考え方(ユニバーサルデザイン、バリアフリー、生活の質(QOL))を理解している。

C-4-3-5　虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を理解している。

C-4-3-6　地域包括ケアシステムをはじめとする、地域における医療・保健・福祉・介護の連携を理解している。

C-4-3-7　地域における災害医療、在宅医療及びへき地医療の体制を理解している。

C-4-3-8　災害時の歯科医療の必要性を理解している。

C-4-4　法歯学

歯科的立場において社会での治安維持に貢献するために、法歯学に基づく方法を理解する。

学修目標：

C-4-4-1　事件、事故及び災害時の犠牲者に対する法歯学的検査の手順、方法及びこれに関連する法規を理解している。

C-4-4-2　歯科領域に関連する損傷の検査及び鑑定について理解している。

C-4-4-3　法医解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)を理解している。

C-4-5　環境と健康

人間の健康と環境との関係を探求し、両者にとってよりよい世界を構築するために、疾病予防や健康の保持増進に寄与する環境条件を見出すことの重要性を理解する。

学修目標：

C-4-5-1　人間と環境との相互関係と環境の重要性を理解している。

C-4-5-2　環境汚染の評価と対策を理解している。

C-4-5-3　公害による健康被害と対策を理解している。

C-4-5-4　地球規模で発生している環境破壊や気候変動の現状を理解し、その国際的な取り組みを理解している。

C-5　予防と健康管理

疾病の予防と健康管理を通じて公衆衛生の向上に努め、健康な生活を確保する。

学修目標：

C-5-1　疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を理解している。

C-5-2　プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを理解している。

C-5-3　プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを理解している。

C-5-4　感染性疾患と非感染性疾患の予防を理解している。

C-5-5　公衆歯科衛生の概要を理解している。

C-5-6　行動科学と健康教育の概要を理解している。

C-5-7　スポーツマウスガードによる外傷予防を理解している。

C-6　疫学及び保健医療統計

疫学や統計を用いて、適切な医療、保健サービスを提供するために必要な能力を身に付ける。

C-6-1　歯科疾患の疫学

疫学と根拠に基づいた医療(EBM)を実践するために、その概念と応用法を理解する。

学修目標：

C-6-1-1　疫学と根拠に基づいた医療(EBM)の概念及び診療ガイドラインを理解している。

C-6-1-2　スクリーニング検査を理解している。

C-6-1-3　歯科疾患の疫学的指標を理解している。

C-6-2　保健統計

統計学の有用性と限界を理解し、保健・医療の問題点を把握するために、保健医療統計とその応用を理解する。

学修目標：

C-6-2-1　確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解している。

C-6-2-2　主な保健医療統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師統計、学校保健統計調査等)を理解している。

C-6-2-3　主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等)を理解している。

C-6-2-4　調査方法と統計的分析法を理解している。

C-6-3　保健医療情報リテラシー

医療の質の向上を目的として、Internet of Things(IoT)や人工知能(AI)、数理・データサイエンスを活用し、保健医療情報をInformation and Communication Technology(ICT)を用いて適切に利用、管理するために、その方法を理解する。

学修目標：

C-6-3-1　ICT を安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。

C-6-3-2　個人情報の保護に関する法律を遵守した保健医療情報(診療録、Personal Health Record 等を含む)の取り扱いを理解している。

C-6-3-3　「人間中心のAI 社会原則」のAI-Ready な社会における、情報倫理(AI 倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。

C-6-3-4　IoT 技術やAI、データ活用等の基本的な概念と手法、医療･保健･介護分野への応用例について理解している。

C-6-3-5　発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有する。

C-7　国際的素養の獲得と国際医療への貢献

国際社会の一員として地域医療の多様性を把握し、国際医療に貢献するために、国際貢献や国際協力に求められる基本的な能力を身に付ける。

学修目標：

C-7-1　患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

C-7-2　地域医療の中で、我が国と異なる文化や価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。

C-7-3　日本の医療の特徴、国際社会への貢献、協力の重要性を理解している。

C-7-4　世界の保健・医療問題の概要を理解している。

C-7-5　パンデミックにおける院内感染対策、国際的な感染症対策と日本の防疫対策を理解している。